

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境保全課長 谷川 宏	
環境-15	衛生・害虫駆除事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境保全課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	快適な生活環境の保全

1 事業の目的

対象	市民等
意図	感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。
効果	不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒相談、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談等に対応した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	不快害虫等の消毒・ 駆除相談事業	薬品購入に係る消耗 品費	相談への対応率(%)	100 / 100	100	100	100.0%
				624 / 1,318	1,356		
02	スズメバチ駆除助成 事業	スズメバチの駆除費用 の一部補助金	処理率(%)	100 / 100	100	100	100.0%
				1,604 / 3,520	2,400		
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	2,228 / 4,838	3,756		
			事業費の合計(千円)	2,228 / 4,838	3,756		
		人件費(千円)		8,237	8,336		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	1.0	1.0			
会計年度任用職員	2.0	0.5	0.5			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	不快害虫等の消毒・駆除相談事業	相談を受けて、適切に対応した。	不快害虫等の消毒・駆除の支援は、快適な生活環境の形成に寄与している。	気象等の自然的要因に大きく左右されるため、それを考慮した予算措置が必要である。また、災害時の不快害虫等の発生に対応する必要があるものの、今後、技能労務職の配置が見込まれないため、民間との連携等を検討する必要がある。
02	スズメバチ駆除助成事業	申請を受けて、適切に助成に係る処理を行った。	人に対し重大な危害を及ぼす恐れのあるスズメバチの駆除を支援することは、快適な生活環境の形成に寄与している。	気象等の自然的要因に大きく左右されるため、それを考慮した予算措置が必要である。
03				
04				
05				
06				
07				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	2 目的達成のために手段(最小事業)を改善する余地がある
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 市民等

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
・不快害虫等の駆除については、災害時に対応ができるよう職員の一定の知識や技術を維持しつつ、民間との連携等を検討する。					
・河川や道路側溝等の市が管理する施設での不快害虫等の発生については、施設管理者が駆除を実施するよう、関係課と引き続き調整を進める。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	単位						
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標(単位)	単位						
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値						
	実績値						
	達成率						

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--